



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

サウジアラビア：週休日の変更

(23日付サウジ国営通信)

23日付サウジ国営通信は、6月29日から、サウジアラビアの週休日を、木金の両曜日から金土の両曜日に変更する国王令について報じた。

1. アブドゥッラー国王は本日、公式のワーキング・デーを日曜日から木曜日とし、週休日を金曜日および土曜日とする国王令を発布した。
2. 同国王令は、この決定が、公益の要請、ならびに国王の経済的立場、国際的・地域的要請、および国民の利益にも資する形で、これらの立場に対する最適な投資環境の実現に向けてなされたと述べている。
3. 同決定は、各機関、政府の部署、国立の機構と国際的・地域的カウンターパートとの間でワーキング・デーが違うことに起因していた否定的な効果と経済的損失を終了させるものであり、サウジアラビア王国にとっての明白な経済的利益に因るものでもある。
4. 国王令の概要
  - (1) 全ての省庁、政府組織および機関、金融機関、サウジ通貨庁(SAMA)、資本市場庁(Capital Market Authority)ならびにサウジ証券取引所の公式ワーキング・デーを日曜日から木曜日とし、週休日は金曜日および土曜日とする。
  - (2) 省庁、政府組織および機関、全ての金融機関、SAMA、資本市場庁ならびにサウジ証券取引所に関しては、本国王令は、2013年6月29日に相当するヒジュラ暦1434年8月20日(土曜日)から執行される。
  - (3) 大学、学校ならびに全ての公教育および高等教育機関に関しては、本国王令は、次アカデミック年度(ヒジュラ暦1434/1435年度、すなわち、今次夏季休暇明け後)から執行される。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799